



調印式の様子(左)、認定店に設置する皿(右下)、隊員たちの元気の源「海自カレー」(左下)



「海自カレー」を新たなご当地グルメとして市内でも味わえるよう、市と海上自衛隊舞鶴地方総監部、舞鶴商工会議所が「まいづる海自カレー協定」を締結。7月14日に調印式を行いました。海自カレーとは、海上自衛隊の部隊や艦艇ごとに独自のレシピで作られているカレーのことで、今

ご当地グルメ

海自カレーを「ご当地グルメ」に

隊員たちの自慢の味をまちなかで

後、舞鶴所属の艦艇の調理部隊や海上自衛隊舞鶴地方総監部にある調理技能などを訓練する「第4術科学校」などが監修したカレーを市内の飲食店で食べる事ができます(11ページ関連記事)。詳しくは、観光商業課(☎66・1024)へ。

特産品

新たな「舞鶴の特産品」に 干しなまこ料理の提供を開始

市では、「干しなまこ」料理による舞鶴の「食の魅力」を発信する取り組みを進めています。市内の4店舗が「京都産干しなまこ料理提供店」に参加し、創意工夫を凝らした料理を創作、提供中です。なまこは、日本では生のまま「酢なまこ」として食べますが、中国では、一日茹でて乾燥させた「干しなまこ」が高級食材として食されています。薬膳料理としても使われる干しなまこは低カロリー・高タンパクでコラーゲンやミネラル



▲白身魚と万願寺甘とうの揚げ出し干しなまこあんかけ(魚源)



▲干しなまこの美人炒め(ホテルマーレたかた)



▲干しなまこ炊き合わせ(幸乃家)



▲干しなまことくちこ・このわた二色和え(松きち)

も豊富。健康や美容に良いと言われています。舞鶴の新しい食材「干しなまこ」料理をぜひご賞味ください。干しなまこ料理をPRするためのキャンペーンも実施予定です。店舗は次のとおり。(8月1日現在)
 ◆ホテルマーレたかた浜(要予約)
 ◆松きち(浜)
 ◆魚源(引土)
 ◆幸乃家(伊佐津)(要予約)
 ▼詳しくは、水産課(☎66・1020)へ。

PR 38代目 クイーンまいづる



▲左から奥山さん、野々垣さん、柴田さん

第38代クイーンまいづるに海上自衛隊舞鶴地方総監部勤務の奥山奈央さん(26歳、余部下)、京都北都信用金庫勤務の野々垣萌さん(23歳、吉野)、大学生の柴田美智子さん(21歳、京都市伏見区)が選ばれました。

3人は、7月29日にマナイ商店街で行われたみなと舞鶴ちやたまつり前夜祭で第37代クイーンまいづると交代。この日から1年間、市内・外のイベントで舞鶴の魅力を全国に発信します。

《観光商業課》

農林

万願寺甘とう

地理的表示保護制度登録決定

6月23日、舞鶴発祥の京の伝統野菜「万願寺甘とう」が「地理的表示(GI)保護制度」に京都府内で初めて登録されました。野菜としては近畿圏で初めて。地理的表示(GI)とは、地域で長年培われた生産方法や気候・風土・土壌などの生産地の特性により、高い品質と評価を獲得するに至った産品の名称で、こうした名称を国が知的財産として登録・保護し、生産者の利益増進や消費者などの利益保護を図る制度です。同制度に登録されること



万願寺甘とうの生産・販売状況(平成28年舞鶴管内)	
生産戸数	143戸
栽培面積	691㌥
出荷量	253㌥
販売金額	1億5,300万円

で、地理的表示であることを示す「GIマーク」の使用が認められ、ほかのとうがらしとの差別化が図られます。また、品質について、国のお墨付きが与えられた産品として需要拡大とブランド価値の向上が期待できます。登録された名称(地理的表示)の不正使用を国が取り締まります。

《農林課》

産地	特性	地理的表示
地名：万願寺 ◆舞鶴市万願寺地区で誕生。 ◆京都府が品種改良を行い「京都万願寺2号」を育成。 ◆生産者部会とJA京都にのくが管理し、中丹地区(舞鶴、綾部、福知山)のみで生産されている。	品質・特徴 ◆辛味成分がない。 ◆肉厚でやわらかく、まるごと食べられる。 ◆肩部のくびれが特長。 ◆さわやかな甘みとほのかなとうがらしの香り 評価 全量を共同選果しているため品質がそろっている点が評価され需要が拡大中。	万願寺甘とう  登録された基準を満たした産品は「GIマーク」を表示できます(登録番号 第37号)

危機管理

Jアラートで緊急情報配信 弾道ミサイル発射時の緊急情報と行動

弾道ミサイルが日本に落下する可能性がある場合、「Jアラート」(全国瞬時警報システム)を通じて、屋外スピーカーなどから、特殊なサイレン(国民保護サイレン)とメッセージ(緊急情報)が流れます。併せて、お持ちの携帯電話に、緊急速報メールが届くほか、まいづるメール配信サービスでもお知らせします。これらの情報

が流れたときは、慌てず下記の行動をとってください。「弾道ミサイル発射時の行動について」は、内閣官房国民保護ポータルサイトをご覧ください。同内容は市ホームページにも掲載。▼詳しくは、危機管理・防災課(☎66・1089)へ。

メッセージが流れたら 落ち着いて、直ちに行動してください。

- 屋外にいる場合 できる限り頑丈な建物や地下に避難する。
地下：地下街や地下駐車などの地下施設
- 建物がない場合 物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- 屋内にいる場合 窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

近くに「隠れ家」があれば、直ちに避難してください。

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、煙から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目隠しをして室内を密閉する。

防災

府が津波被害想定を公表 津波被害から命を守る

京都府が「日本海における最大クラスの地震・津波による被害想定」を5月30日に公表しました。同想定は府ホームページから詳細が確認できます。京都府内の津波による被害が初めて想定され、舞鶴市における津波被害が下表のとおり示されました。▼詳しくは、危機管理・防災課(☎66・1089)へ。

津波による舞鶴市内の被害想定			
地震発生場所	最大震度	死者	住宅全壊棟数
秋田県沖	3	10人	若干数
若狭湾沖	5弱	100人	100棟
若狭湾内	7	180人	20棟

POINT 津波から避難する4つのポイント

- 1 勝手な判断をしない**
小さな揺れでも大津波の危険がある。また「ここは大丈夫」といった思い込みが大変危険。津波を予測先かせるとともに正確な情報入手すること。
- 2 揺れがおさまったら、すぐ避難**
震源の位置次第では、揺れてからわずか数分で津波が到達することがある。揺れがおさまったら、すぐに避難する。
- 3 できるだけ高いところへ逃げる**
津波はとてつもないので避難の時間がない場合があるため、速くより可能な限り近くの高い場所に避難する。
- 4 第2波、第3波に注意**
津波は海岸や海底の地形によって複雑な動きをする。地形によっては第1波より第2波や第3波の方が高くなる場合もある。津波警報や注意報が解除されるまで警戒すること。

海の近くで強い地震の揺れを感じた時や津波警報などの発表を聞いたときは、上の4つのポイントを押さえて高いところへ避難しましょう。適切な避難により人的被害を想定より減らすことができます。